

# 青森市町会連合会事務局発行 事務局

60.3 (月刊)  
第118号  
編集責任者  
佐藤勝男  
TEL 34-2584

## 新しい町会誕生

(町会名) (町会長氏名) (現住所) (世帯数) (組数)  
蛸ヶ丘町会 高崎利一 駒込字蛸沢 (八〇〇) (二六)

五九一三三  
県住十四号  
棟三ノ五  
電話四一〇

赤坂町会 川崎 市三郎 戸山字赤坂 (四八) (五)  
電話四三〇  
一五八〇四八  
六八一三番

右の二町会は、いずれも東部第十区連合町会に所属、設立月日は蛸ヶ丘町会は十二月二十一日、赤坂町会は十二月二十二日である。これら市内の町会数は、全部で三四三町会になった。

## 青森市環境衛生推進市民会議 (仮称) 設置

仮称ではあるが、標記の会議がもたれた。(59・12・24)  
出席者は、市側、隅田清掃課長、坪清掃事業所長外職員数名  
町連側、岩谷会長、各副会長、環境衛生部員六名

この会議の狙いは、市民一人ひとりがゴミ問題を、自分達の生活環境を守り、資源確保の問題としてとらえ、ゴミの減量化につながる分別の徹底と再利用運動を全市的に展開し、「活力と魅力あふれた理想の町づくりをしよう」ということにある。

- 具体的事業としては、
  - (一)、資源回収運動(リサイクル)を更に広めていく。
  - (二)、ゴミ収集場所の監視と正しいゴミの出し方推進。
  - (三)、地域住民に対するゴミ教育の実施。
  - (四)、実践発表会、研修会、意見交換の会。
  - (五)、印刷物の発行、配布。
- 委員構成としては、
  - (1)、各町会から選出された人。
  - (2)、趣旨に賛同して入会した各種団体から選出された人。
  - (3)、趣旨に賛同して入会した個人。

(一)、総会及び幹事会。  
以上は、市から提案された要綱の抜粋であるが、原案は、琵琶湖汚染から起ちあがった滋賀県大津市のものを参考にしたものである。

### ○印市側発言 ▲印町連側発言

- 要綱中心に当日話し合った内容は、
  - (一) 一応、市側から坪所長の設置要綱の説明あった後、質疑応答に入った。実施に伴う予算はどうなっているか。
  - (二) 予算は、会場費など見込んで要求してあるが、原則として、この運動はボランティア活動を期待している。
  - (三) 従来あった青森市衛生都市建設促進協議会はどうなるのか。
  - (四) この会は発展的解消した。
  - (五) 大津市の場合、私も知っているが、この種の団体をつくる以前の市民に対する環境(霧田気)づくりがよくなされている。
  - (六) 大津市は、琵琶湖中心に汚染に対する市民の意識は高い。
  - (七) 青森市でも河川の汚染はすすんでいる。
  - (八) 他都市でも、この種の会が設置されているか。
  - (九) 大体において設置されている。
  - (十) 趣旨には賛成である。結局は市民の意識向上が大切で、そのための方法の一つだと考える。

▲ この運動は、単なる他都市の真似ではだめで、下からの盛り上り、特に婦人団体の協力が必要だ。趣旨には賛成である。  
○ 婦人団体からの申し入れが多い。今回、町連側の意見をきいた上で、各種団体とも話し合う予定だ。  
▲ 要綱をよんでみて、もう少し、文章的に練る必要があるそうだ。  
▲ 内容をみると、ゴミ処理に尽きている。名称をゴミ処理推進市民会議にしてはどうか。

▲ 市と町連と密接な連絡をとり、町連が主導するようにすればどうか。個人の賛同入会は効果に疑問がもたれる。  
○ 原案を持ち帰り充分検討の上、ご協力をお願いしたい。

大体、以上の話し合いで終わったが、結論として、会議設置の趣旨には、町連側として賛同した。今後、各種団体と市側が話し合い、原案が充分検討された後、成案ができることと思う。この種の市民会議が他にも多くあり、その割には成果がみられない。頭だけあって実際働く足がなければ、単なるペーパー会議で、市民から浮き上った無意味な存在になる。

よく動く足と、それを動かせる機構組織と市民運動としてのPR等どれひとつ欠けても発展に結びつかない。原案検討とともに、不振団体の不振の原因なども究明し、前線を踏まぬ気構えも必要ではないだろうか。つくる以上は、足のない幽霊団体にはしたくないものである。

## カラス公害には網を

ゴミ収集場所は現在二、八七八カ所あるが、カラスに袋を破られて、お手あげの町会も多い。屋根付納戸で整備された場所は問題ないが、それ以外は大きな被害をうけていると思う。  
この対策には、既に網で成果をあげている町会もきいているが、中にはクレゾール液をまくとよいという人もいる。然し臭いがきついため、どこの場所でも、というわけにはいかない。

京王台団地町会(楠引喜一郎会長)では、ことし網で実験した結果、効果抜群だったという。カラスも地区により知能指数に差があるようで、今夏、中央児童公園で、ジュースの空かんを逆さに嘴にかけ、残りの液をのんで、たカラスを目撃してびっくりしたことがある。次年度頭のよいカラス追放に決定弾を打ちこみたいものです。特にカラス公害に悩む町会は、事務局まで情報をおよせください。

## 墓 碑 銘

故野尻町会長野沢正蔵殿(七十一歳)

五十九年十二月二十日死去、二十四日葬儀(於横内公民館)町会長九年生である。元気でバイクをのり廻し、事務所へも時々顔をみせていた。訃報をきいてびっくり、改めて二十一日付の朝刊を見直すと、写真入りで、「住宅全焼、火の元の老人焼死」と出ていた。少し写真顔は若かったが、本人と確認、暗然とした。二十日午後七時すぎ二階の室の石油ストーブの過熱らしいと報ぜられている。消火にとめたものの、手遅れで、新材のガスでやられたらしい。  
発見された時は毛布をかぶって既に亡くなっていたという。逃げる潮時を失ったのだろう。  
● バイクに乗れば、電信柱が邪魔くさふて困るじゃ。  
● 学校の成績よ、町がらきたワラハドに地元のワラハドいつも負けるはで野球ダバ勝でるどもって、道具寄付したら選手になったの皆、町のワラハドばかりでガツカリしたじゃ。  
● 相撲だば勝でるどもってフンドシ寄付したじゃ、これも町のワラハドに負けてばりいらね。  
● 町会のこと、ワ、何もしなくてもおらはの城代家老がちゃんとしてけらね。等と愉快な語録を遺し、八十余坪の家屋とともに、燃えさかる炎と煙の中に昇天して逝った。痛恨の極みである。  
心からご冥福を祈ります。

(合掌)

昇りつめて

凧傲然と武者の貌

(K)

